



2007年4月17日
株式会社ヒューマントラスト

アテネパラリンピック金メダリスト 土田和歌子 選手 母となって復帰 第一戦 ポストンマラソンで優勝！！ 車いすの部 日本人女性初の快挙

総合人材サービス企業の株式会社ヒューマントラスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 阪本美貴子)の所属で、アテネパラリンピック金メダリストである土田和歌子選手は、出産による1年間のブランクを経て、4月16日、米国で開催されたポストンマラソン(車いすの部、スタート時刻 現地時間 9:25 日本時間 同日 22:25)において競技に復帰し、見事、優勝しました。

土田選手は、2004年アテネパラリンピックで金・銀2つのメダルを獲得した後、06年1月から結婚、出産のために一旦、競技生活から離れていましたが、出産3ヵ月後からトレーニングを開始し、北京パラリンピックで2種目制覇する夢に向かい挑戦を続けています。ポストンマラソンは今回が3度目(02年3位、03年4位)で、現時点での走力を確認することを目的に出場しました。

レースの途中、スピードメーターさえ見ることができない激しい雨と風で、このような悪天候のレースは初めてでしたが、スタート直後からトップにたち、そのまま首位を守り抜きました。

【ポストンマラソン(車いすの部) 競技結果】

| | | |
|----|--------------------------|-------------|
| 1位 | 土田 和歌子 (日本 ヒューマントラスト所属) | 1時間 53分 30秒 |
| 2位 | Amanda M. McGrory (アメリカ) | 1時間 58分 01秒 |
| 3位 | Sandra F. Graf (スイス) | 2時間 02分 30秒 |

【土田和歌子選手コメント】

「約1年ぶりのレースでかなり緊張感がありました。当初、集団の中で様子を見る予定でしたが、スタートの時点で先頭に出ていたの思い切って行ってみたら結果的に良かった。終盤の登りは石垣島での合宿の成果が出たと思います。一つの結果が出たことで次のレースに繋がられると感じています。今後も更なるトレーニングを重ねて、北京パラリンピックへの夢を実現させるためにがんばります。」

【^{つちだわ}^{かこ}土田和歌子選手 プロフィール】

1974 年 10 月 15 日 東京都生まれ

高校 2 年の時、友人とドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。

1993 年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードスケート始める。



長野パラリンピックでは 1500 メートルで自身の世界新記録を更新し金メダルを獲得。1000 メートルでも金メダル、100 メートル、500 メートルでは銀メダルを獲得した。

一方、陸上競技にも挑戦し 2000 年シドニーパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得。2004 年アテネパラリンピックでは、5000m で念願の金メダル、フルマラソンでは銀メダルを獲得。日本人初の夏冬「金メダリスト」となった。

東京都教育庁、セイコ・ハシモトインターナショナルコーポレーション(S.H.I)所属を経て現職。2004 年アテネパラリンピックであと一步のところまで達成出来なかった、5000m・マラソンの 2 種目で金メダル獲得を目指し、2008 年の北京へ向け始動。

株式会社ヒューマントラストについて

1995 年 2 月の設立以来、人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、人事コンサルティングと順次事業を拡大、売り上げも順調に推移し、現在全国 23 拠点(2007 年 3 月現在)でサービスを展開しています。

従来、総合人材サービス企業として多様なニーズに合わせた人材活用を提案してまいりましたが、障害者の雇用促進を目的に、2007 年 4 月、ヒューマントラストフロンティアを設立しました。土田選手は、同社の設立準備段階である 2006 年 11 月にヒューマントラストに入社し、まず当面は北京パラリンピックに向けた練習を活動の中心としています。そしてパラリンピック以降、本格的に障害者雇用促進プロジェクトの推進役として、自身の経験を活かしながら、「夢」、「家庭」、「就労」を両立させるような仕組みづくり、環境づくりに参画する予定です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社ヒューマントラスト 広報室 TEL : 03-3517-0740